



これまでFW陣は赤嶺の1ゴールだけだったが、この日は小松が2ゴールとFWとしての役割を大いに果たした



突破を図る青山、藤本の2点目につながるファウルを受けるなどいい上がりを見せた



延長後半8分、相手にPKを行えるが、それを時久がスパーキーフで防ぐ



# 辿り着いた頂点 史上初の3連覇!!

8月20日 21:00 アルサンジャックスタジアム	
3 - 2	
0 - 1	
0 - 0	
0 - 0	
0 - 0	
3 - 2	
得点者(アシスト)	
【日】3分:小松 塁(衛藤 裕)	
【日】18分:藤本淳吾	
【イ】19分: ANTENUCCI	
【イ】36分: ANTENUCCI	
【日】44分:小松 塁(伊野波雅彦)	
【イ】67分: ANTENUCCI	
P K	
【日】1 x 2 3 x 4 5	
【イ】1 x 2 x 3 4 5 x	
JAPAN	ITALY
GK 時久省吾(3)	GK SCIARRONE
DF 徳永悠平(4)	DF CARNESALINI
DF 小宮山尊信(3)	(47分 ROVERATO)
DF 秋葉陽一(4)	DF COLANTONI
DF 登尾顕徳(4)	DF CUSARO
MF 伊野波雅彦(2)	DF FERRARIO
MF 兵藤慎剛(2)	MF CERCHIA
(64分 原 一樹(3))	MF GUERRI
MF 藤本淳吾(4)	MF PAROLOM
(89分 廣井友信(3))	(57分 SALA)
MF 衛藤 裕(4)	(111分 LENTINI)
(44分 池上礼一(4))	MF ROSSO
FW 赤嶺真吾(4)	FW ANTENUCCI
(46分 巻 佑樹(3))	FW AQUARO
(102分 原 一樹(3))	(60分 IERNA)
FW 小松 塁(4)	
(80分 辻尾真二(2))	
S U B	S U B
GK 赤星 拓(3)	GK ROSSI
GK 飯塚 涉(2)	DF VINCENTI
DF 廣井友信(3)	FW FRANCIA
MF 金澤大将(4)	
FW 高橋大輔(4)	
MANAGER 乾 真寛	MANAGER MOUDNI
警告(C) / 退場(S)	
【日】20分:徳永悠平(C)、113分:登尾顕徳(C)	
【イ】8分:AQUARO(C)、31分:CERCHIA(C)	
55分:ROSSO(C)、60分:FERRARIO(C)	
84分:CUSARO(C)	
[主審]KRALOVEC	



表彰式後、メダルを噛み、日の丸を掲げる駒大の4人選手

「カードと共に、この試合2度目のPKをイタリアに与えてしまった。だが、最後まで戦い抜くという選手スタップの気持ちの時久に乗り移った」と乾監督が言うように、勝利の女神は見放さなかった。時久のスーパーセーブでなんとか絶体絶命のピンチを凌ぎ、延長前後半30分を終えPK戦へ。

最初のキッカー・藤本が外し嫌な空気が流れたが、2番目のMF兵藤(早大)が決め、流れを引き戻した。(キッカーは)国際経験豊富な選手を選んだ」と乾監督、強心臓を持ったキッカーの冷静なシュートと時久の好守によりPK戦の末、勝利。その瞬間、みな時久のもとに駆け寄り、選手スタップ全員で勝利の美酒に酔いしれた。(荒川好和)